

潤徳小 ごみの種類や分別について学習

身近なごみに関心を持ってもらおうと熊本県産業資源循環協会青年部会が11月8日、潤徳小学校で、2・4年生の児童12人を対象に「環境出前講座」を開催しました。

同部会の早速一平氏と松本龍祐氏（国見総業）が講師を務め、廃棄物の種類や分別方法について、クイズを交えながら楽しく説明。児童たちは、実際のごみを使った分別に挑戦したり、パッカー車を用いた収集作業などを体験しました。

最後に、学習したことを踏まえて、これから自分たちができることを一人ずつ発表。「山都町をはじめ、熊本県全体をきれいにしていきたい」「清掃ボランティア活動に参加してみたい」など、今後の環境に対する思いを葉っぱ型のカードに書いて、「約束の木」を作りました。



花で町を明るく 商工会青年部・女性部と矢部高生が植栽

11月18日、商工会青年部・女性部と矢部高校生による花の植栽活動が行われ、パンジーや、葉ボタン、アリアッサムをプランターに植えました。

コロナ禍でイベントなどが中止・縮小されるなか、少しでも町に彩りを添えたいと商工会青年部・女性部が企画。花は矢部高校食農科学科2年生が栽培し、木材で作られたプランター枠は、林業科3年生がデザイン・製作を担当しました。

「新型コロナウイルスが流行して地域の方々と交流する機会が少なかった。今回の活動をすることができて、新鮮で楽しい」と食農科学科2年生の阪本さん。商工会メンバーと協力しながら、花をポットから取り出し、プランターに配置、一つ一つ丁寧に土を掛けていました。なお、この日植えられた花は、町内50以上の公共団体などに贈られるということです。



部分月食 山都町の上空にも

11月19日、月の大部分が地球の影に隠れた部分月食が山都町でも見られました。

撮影したのはアマチュア天文家として清和を中心にして星空の授業などの活動をしている折尾拓美さん（米生）。月食が見られる時間帯は月の高度が低く、より東の空が開けた場所を求めて池尻の唐笠松を撮影スポットに選んだそうです。

12月13日前後には、ふたご座流星群の活動が活発になることから、流星が見られそうだとのこと。寒い季節ですので、対策をしっかりと行って観測されてはいかがでしょうか？



折尾拓美さん撮影
11月19日午後6時頃(Canon EOS
ISO:400、露出5秒、絞りF5.6)

矢部高校×天草拓心高校×蔦屋書店 「One Team マルシェ」にお越しください！

12月18日、蔦屋書店熊本三年坂店で矢部高校と天草拓心高校マリン校舎による「One Teamマルシェ」を開催します。

両校の特色を生かしたワークショップ(ハーバリウム、木工品、コースター製作)が体験でき、地元の特産品を使ったコラボ商品も販売します。

また、矢部高生とBLANCO ice creamさん(下市)が共同開発したアイスクリームや、昨年販売した蔦屋書店さんと共同開発した果実ジャム「MIERU JAM」も販売しますので、是非お越しください。



↑ 昨年の
「MIERU JAM」
販売会の様子

← 共同開発した
アイスクリーム

矢部高生が認知症予防パズルを製作

11月11日、やまと文化の森で矢部高生が作成した認知症予防パズル『好きっ 通潤パズル』のお披露目と体験会が行われました。

パズルの原材料は学校の木工実習で出た端材。端材は産業廃棄物として大量に焼却処分されていました。この状況をもったいないと感じた高校生が高齢者の機能回復や認知症予防に活用できる遊具を研究し、認知症予防パズルの第一人者である株式会社

Re学の川端先生にアドバイスを受け、製作しました。「パズルの角を丸く加工するのが難しかった。」と林業科3年生の岡部さん。遊ぶ人がケガをしないようにと、丸く加工されています。

体験会では、参加された住民らが、高校生からコツを教わりながらパズルに挑戦していました。パズルが完成すると拍手が起こるなど和気あいあいとした雰囲気が広がりました。

このパズルは町内の介護施設や各地区の高齢者サロンに寄贈されます。



認知症予防パズル
『好きっ 通潤パズル』



パズル体験会の様子

AC山都から「やまと令和寮」へ野菜の贈り物

11月12日、AC山都より矢部高校の「やまと令和寮」へ野菜の贈呈が行われました。AC山都とは、町内の若手農業後継者で構成されている団体です。

キャベツ、ピーマン、トマトなど、AC山都の会員が大切に育てた野菜を贈るこの活動は、令和2年から地域貢献活動の一環として行われています。会長の山本寛大さんは、「町内でつくられた野菜を食べて学業に励んでください。」と話されました。



うがい茶使って感染症予防！

11月16日、大川保育園でうがい茶の贈呈式が行われました。

山都町茶振興会では、毎年風邪やインフルエンザの予防として、町内の保育園、小・中学校にうがい用のお茶を贈っています。会長の渡邊憲治さんは、「インフルエンザやコロナウイルスなどの感染症予防に役立てて、元気に過ごしてほしい。」と話されていました。

うがい茶は、生産農家の方々から無償で提供していただいたお茶を、渋みを少なくして、うがいしやすいように加工しています。園児たちは、嬉しそうにうがいをしていました。



県立大食堂 山都町産食材活かしたメニュー

10月19日、県立大の学生食堂で山都町産の食材を使ったメニューが提供されました。これは、毎月の「食育の日」に合わせた取り組みで、学生が地域の食材について学び、食育への関心と健康意識の向上を目的としています。メニューを考案したのは有志の学生たち。ジビエ（猪肉）にレタスや玉ねぎなど有機野菜を使ったジビエチーズバーガーは販売開始から約30分で100食を完売するほどの好評ぶりでした。メニュー提供当日では、食堂ステージにてジビエ工房施設長によるジビエ肉の紹介と地域おこし協力隊員による町の紹介が行われました。



当日のメニュー(ジビエチーズバーガー、野菜と大豆のミネストローネ、ブルーベリーパイ)

秋の菊3000株が庭一面を彩りました

蘇陽地区今の松原稔さん宅の庭で、黄色や赤の鮮やかな菊が一面に咲き誇っていました。庭は一般公開されており、訪れた人を楽しませていました。

「日々変化する庭の景色を見るのが楽しみ」と松原さん。20年ほど前から約1万㎡もの敷地を整備し、自慢の菊で彩ってきました。昨年からは裏山に遊歩道を整備。遊歩道をたどって裏山にある展望台まで上ると、広大な庭園の景色に圧倒されます。足が不自由な人も景色を楽しめるようにと、展望台までの車道も整備されています。



パトカー型サインボードを設置しました

11月2日、矢部地区川野の国道218号沿いにおいてパトカー型サインボード設置に伴う除幕式が開催されました。

このサインボードは環境にもやさしいソーラー式で、伊勢、白小野、杉木に続いて町内4か所目の設置になります。

山都地区守ろう交通ルール推進協議会により設置され、交通事故や違反がないよう、赤色灯をピカピカ光らせています。

安心して住みやすい山都町のためにも、安全運転にご協力をお願いします。



監査委員の選任について

山都町議会議員の改選に伴い、令和3年第5回山都町議会臨時会(11月)にて同意を得て、山都町議会議員より中村五彦氏(62歳)が、監査委員に選任されました。

監査委員は、町の財政に関する事務の執行および経営に係る事業の管理について監査を実施されており、識見を有する者のうちから選任したもう1人の監査委員(志賀美枝子監査委員)と共に、2人で監査を実施されます。任期は、令和3年11月5日から令和7年10月31日(議員の任期)までです。



梅田町長(左)と中村五彦監査委員(右)

新規就農者を応援! 農業後継者就農交付式を行いました

11月11日、本庁にて令和3年度の山都町農業後継者就農交付金の交付式を行いました。この交付金は地域農業を支える若い農業後継者の育成と確保を目的に農業後継者、または新規就農者に交付されます。対象者3名のうち2名が出席され、現在作っている品種・作付面積などの経営内容や、これからの展望・目標や想いなどを話されました。梅田町長からは「若い力で山都町の農業を盛り上げていって欲しい」と激励の言葉が贈られました。



出席した藤嶋さん(郷野原)・倉岡さん(下名連石)

県交通安全功労表彰

11月15日、町長から、町の交通指導員である伴直枝さん(藤木)と今村湖一さん(田所)に、県の交通安全功労表彰が伝達されました。

お二人とも約20年にわたり、町内の安全で快適な交通社会の実現に尽力されており、長年の功績が称えられ、今回の表彰となりました。今回の表彰について、伴さんは「まだまだ現役でがんばります」、今村さんは「山都町から事故がなくなりますよう尽力します。」と交通安全に対する意気込みを述べられました。



今村湖一さん(中央左)、伴直枝さん(中央右)

防犯栄誉銀章受賞

11月18日、山都警察署において、谷口署長から日隈雄一郎さん(猿渡)に全国防犯協会連合会防犯栄誉銀章が伝達されました。

日隈さんは、平成6年に少年補導員として委嘱を受け、多年にわたり、少年の犯罪被害防止に取り組んでおられます。また、PTA防犯パトロール隊として「カギかけ日本一運動」や「電話で『お金』詐欺」被害防止のため、年金支給日キャンペーンに率先して参加されていた実績もあり、これらの防犯活動が高く評価され、今回の受賞となりました。



日隈雄一郎さん(写真右)

少年補導栄誉銅章受賞

11月18日、山都警察署において、谷口署長から松永秀憲さん(畑)に全国少年警察ボランティア協会少年補導栄誉銅章が伝達されました。

松永さんは、平成10年から少年補導員として、夏休みなどの長期休暇や祭事での一斉街頭補導や、補導少年の居場所づくりに献身的に取り組んでおられます。また、子どもたちが犯罪被害に遭わないための見回り活動や、有害図書等の自動販売機が設置されないよう地域に働きかけを行うなど、少年の非行防止や健全育成に尽力されたことが評価され、今回の受賞となりました。



松永秀憲さん(写真右)